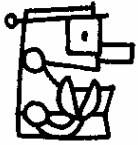


小 / 理科 / 6年 / 地球と宇宙 /
星の動き / 理解シート

天の川は、何でできているの



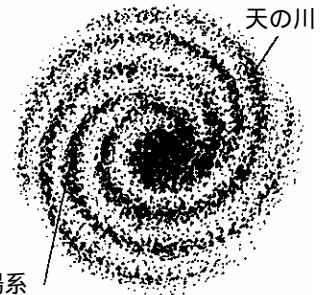
天の川は、^{ぎんがけい}銀河系の星が遠くまで重なって見えている部分で、地球から見ると、天の川は星空を1周しているのさ。

天の川を望遠鏡で見ると、無数の星に見える

科学技術が進んで、天体望遠鏡でより遠くの星まで見えるようになり、それぞれの星の位置などがはっきりしてくるにつれて、地球から見たときの星の散らばり方がわかってきました。そして、ふつうに見上げた夜空の星は、空全体に散らばっているように見えるけれど、実際に星の位置をくわしく調べてみると、天の川の方角に集まっていることがわかったのです。星の配置を調べると、下図のような形になります。そのため、星がびっしり^{なら}並んだ方向を見たときには、かすんだ遠くの星の帯が、白い川のように見え、日本では「天の川」とよばれるものになっています。

天の川は、銀河系を内側から見た姿^{すがた}

銀河系は、直径が約10万光年もある星の大集団です。地球は、約2000億個もの星が、^{えんばんじょう}円盤状に集まった銀河系の中にあります。人間は、下図の内側から、外を見ていることになり、星々が重なり合って、川のように見えるのが、天の川です。



< 上から見た銀河系 >

< 地球から見た星の散らばり >

